



子供たちの笑顔に囲まれて 多くの熱帯魚が暮らす 笑いと癒しの幼稚園

神奈川県・横浜市 学校法人 平成学園 はら幼稚園様

取材・文 鶴田賢二 取材・写真協力 水景プランニング

園舎入り口に置かれた幅90センチの美しい水草水槽が印象的な神奈川県横浜市のはら幼稚園。元々同園では淡水魚と海水魚の両方を飼育しており、水槽のメンテナンスなど管理も園のスタッフたちで行っていたのだそうだが



満面の笑顔が印象的な
はら幼稚園のスタッフ
のみなさん。

デザイン性に優れた作品を
提供したいと語る水景プランニングの眞田直和さん。





枝流木をアクセントにした水草レイアウトの中を泳ぐネオンテトラが美しい。



水槽を眺めるのが日課となっているはら幼稚園の園児たち。安らぎだけではなく生命の尊さなどを真近で体験できるのも大きなポイントだろう。

幼稚園の主役といえばもちろん元気一杯の園児たち。

2011年3月11日の東日本大震災の影響で水槽は中断してしまったのだそうだ。現在水槽の管理を担当するTOJO神奈川の水景プランニング眞田代表との出会いから園児たちや職員にとっても安らぎになればの思いから水槽を開することを決めて現在に至っている。

子供たちはもちろん、保護者の方や職員のみなさんからの評判も上々で常に水槽の前には誰かが見ているなんてことも少なくないそうだ。

また水槽管理のこだわりとして1つのレイアウトにとらわれるのでなくTOJOグループの十八番フレグランス水槽やスタンダードな水草水槽、流水槽をメインにあしらった水草水槽など水槽のコンセプトに変化をつけてレイアウトの変更も定期的に行っているのがポイントとなっている。

これは個人で水槽を管理、メンテナンスしている場合はなかなか簡単に実現することは不可能で水槽メンテナンスを専門業者に委託しているからこそ簡単に実現できる大きなメリットともいえるだろう。